

令和6年度 学校経営の大綱

宮古島市立平良中学校

1 教育理念

学習指導要領「前文」においては、これからの学校においては「一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」が求められている。

本校においても、本前文の内容を理念とし、育成を目指す資質・能力の3つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」をバランスよく育成し、未来に向け生徒一人一人が可能性を伸ばし「自己実現」を果たしていくことを目指した教育活動を展開する。

2 学校教育目標

「凡事に至誠を貫き 可能性を伸ばす」

3 学校経営目標「目指す生徒像」

「SHINPO力を発揮し未来を切り拓く生徒」の育成

4 学校スローガン

未来へSHINPOする平良中
～ 自己実現を目指し一人一人が可能性を伸ばす ～

5 経営方針「目指す学校像」

- (1) 一人一人の生徒・教職員の「Well-being」の実現に向けた魅力ある学校づくりを推進します。「心歩・真歩」
- (2) 未来志向で、5つのSHINPOをコンセプトとし、5つのSHINPO力を育む魅力ある学校づくりを推進します「進歩」
- (3) 地域（家庭）とともに協働し、主体的（探究的）な学びと活動を創造する魅力ある学校づくりを推進します「親歩・新歩」

6 目指す教師像

- (1) ワーク・ライフ・バランスを大切にし心身共に健康・健全な教師 「心歩」
- (2) 「生徒理解」と「率先垂範」「師弟同行」に努め、言葉より先ずは行動で示す教師
「真歩」
- (3) 研究・修養に励み、自らの専門性や教師力を高める教師「進歩」
- (4) チーム「TAIRA」の一員として学校運営に参画・協働し、地域とともに歩む教師「親歩」
- (5) 「主体的・対話的で深い学び」を実現し、PDCAサイクルを確立し教育実践の改善を図る教師「新歩」

7 育てたい資質・能力

「SHINPO力」：自立に向け自己実現を図り未来を切り拓く力

SHINPO力 ～自立に向け自己実現を図り未来を切り拓く力～			
5つのSHINPO	関連	5つのSHINPO力 資質・能力	資質・能力の定義
進歩	自立した学習者	主体性	自分で考え、判断（計画）し、行動する力
親歩		協働力	多様な集団の中で協働する力
新歩		創造力	豊かな発想を持ち、創意工夫する力
真歩	Well-being	至誠	何事に対して、真心をもって接することのできる資質
心歩		思いやり	相手の立場になって考え、気を配ることのできる資質

8 学校経営の重点

柱1「学びづくり」 授業・学びがSHINPOする

「主体的な学びと確かな学力の保障」

- (1) 単元を見通した「指導と評価の一体化」に関すること（PDCAサイクルの確立）
 - ① 単元を見通した主体的・対話的で深い学びの実現（授業改善）
 - ② 指導（学習）改善に向けた単元テスト・定期テストの効果的な実施
- (2) 校内研を軸とした組織的研究
 - ① 「教科会」の充実と校内研テーマを踏まえた「教科プラン」の作成
 - ② 教科プランに基づいた自己申告授業（一人一授業）の実施
- (3) 学習の基盤となる資質・能力（言語能力等）の育成
 - ① 各教科における言語活動の充実
 - ② 朝の活動「読書・天声人語」の推進
 - ③ 図書館を読書・学習・情報センターとした学級・教科担任との連携
- (4) 基礎的・基本的な学習内容の定着
 - ① わかる授業の工夫と生徒間の学び合い
 - ② 自学自習「家庭学習」の習慣化と効果的な支援
 - ③ テスト前等の補習等の実施（学習内容の定着に向けて）
- (5) ICTの効果的活用（個別最適な学び・協働的な学びの充実）
 - ① ICTの効果的活用等による個別最適な学びの推進（タブレット有効活用）
 - ② 授業のねらいを達成するためのICTの効果的活用・校内研の実施
- (6) 特別支援教育の理念に基づいた教育課程と支援の充実

- ① 個々の障害や特性等に即した適切な教育課程の編成「機械的・画一的にならない」
- ② 特別支援学級・通級による適切な支援と自立活動の充実（指導の個別化）

柱2「心と体づくり」 心と体がSHINPOする

至誠を心がけ たくましく生きる

(1) 社会とのつながり「至誠」の実践

- ① 「平良中スタンダード～授業の決まり～」 「平良中学びの第一歩」の定着
- ② 社会へのつながりを意識した生徒心得等の遵守（自己指導能力）

(2) 一人一人の自己実現を支えるキャリア教育の充実

- ① 未来講話（進路・将来の生き方）の実施（年2回）
- ② 「かふやみ手帳」の効果的な活用
- ③ キャリアパスポートの計画的・効果的な活用

(3) 道徳性を養う道徳教育の充実

- ① 道徳科を要とした道徳教育の推進「大人になる前～22のこと」
- ② 各学年ローテーション授業の計画的な実施

(4) 心身の健康への関心と健康な生活習慣の形成

- ① 学校三師との連携と保健指導（健康課題、性、エイズ・薬物乱用防止）の充実
- ② 健全な食生活の実践のため「食」に関する授業や講話の実施

(5) 体力向上を目指した体育・部活動の充実

- ① 体力向上のため、教科体育や運動会等の適切な計画と実施
- ② 部活動における生徒の主体的な活動

柱3「絆づくり」 仲間とSHINPOする

「一人一人の尊重と思いやりでWell-bing」

(1) 一人一人に居場所のある学級づくり（安心・所属・承認・自立）

- ① よりよい学級を目指した自治的な集団づくり
- ② 生徒会活動と学級活動の接続（重点目標の実践・委員会活動と係活動の接続）

(2) 特別活動（生徒会活動・学校行事）における自治的な取組の推進

- ① 出番・役割を与え「なすことによって学ぶ」特別活動の充実
- ② 生徒が自発的・自治的に企画・進行・運営する生徒会活動・学校行事

(3) 「いじめ見逃しゼロ（積極的認知）」に向けた組織対応

- ① いじめ重大事態に発展させない初期対応と組織対応の強化
- ② 毎月のアンケートの確実な実施と家庭との連携「いじめ早期発見」

(4) 自立に向けた不登校生徒への支援の充実

- ① 欠席者への早期対応と家庭（保護者）との連携を基盤とした支援
- ② 校内自立支援室の有効活用と支援の充実
- ③ 関係機関（適応指導教室等・SC・SSW）への確実なつなぎと関わり

(5) 違いを認め尊重し合うインクルーシブ教育の理念の追求

- ① 教育的ニーズを踏まえた「個別の支援計画・指導計画」の策定
- ② ①を踏まえ個に応じたな協力学級との連携（交流及び共同学習）

柱4「学校づくり」 地域とSHINPOする

地域と協働する魅力ある学校づくり

(1) 「チームT A I R A」として組織対応の機能化

- ① 「生徒指導委員会」「インクルーシブ委員会」での情報共有と組織対応の徹底
- ② 校外組織（関係機関）との協働による効果的な指導・支援
- ③ 日常におけるより確実な報告・連絡・相談の実施

(2) 働き方改革の推進と服務規律の確保

- ① 3軸・6視点の実感を向上させる取組の推進
- ② 不祥事や非違行為防止の視点から定期的な自己点検の実施

(3) 小中連携の推進に関すること

- ① 小中相互の授業交流
- ② 小中共通項（学習スタンダード・言語能力等）の実践

(4) コミュニティ・スクールの推進（R7年度より）

- ① 目指す生徒像や資質・能力の共有と育ちの検証「社会に開かれた教育課程」
- ② 学校課題（学校安全・働き方改革・学習習慣等）の改善に向けた連携・協働

(5) 地域（企業）と共に「探究的な学び」の推進

- ① 地域素材を生かし発展させる総合的な学習の時間の充実
- ② キャリア教育の視点から保護者・地域（企業）人材の活用

(6) 地域との交流と積極的な情報発信

- ① 地域行事・ボランティア活動への協力
- ② 学校ホームページの定期的な更新や各種通信の発行